



神奈川県内における振り込め詐欺発生状況等について



平成30年3月版
神奈川県警察本部
生活安全総務課

1 振り込め詐欺認知状況

	平成30年2月末		前年同期比	
	件数	被害総額	件数	被害総額
振り込め詐欺	368	約6億8,800万円	+129	+約1億3,400万円
オレオレ詐欺	284	約4億8,900万円	+126	+約9,200万円
警察官等をかたるキャッシュカード手交	189	約1億9,700万円	+142	+約1億3,600万円
架空請求詐欺	28	約1億1,900万円	±0	+約4,700万円
融資保証金詐欺	1	約200円	±0	+約100万円
還付金等詐欺	55	約7,900万円	+3	-約700万円

※ 被害額はキャッシュカード手交によるATMにおける払出（窃取）額を加えた実質的な被害額

2 情報掲示板

被害防止好事例

【事例1】

孫を装う犯人から「投資に失敗して、示談金が必要。」などと電話があり、お金が必要だと言われ信じた女性は、犯人に指示され、県外から電車で神奈川県内の駅まで来ました。その後、女性はメモ帳を見ながら駅の公衆電話を使い、犯人に言われた電話番号に電話をかけていたところ、その様子を見た駅員が不審に思って声を掛け、振り込め詐欺の手口について説明するも、女性が頑なに否定する様子から詐欺と確信し、近くの交番に連れて行くなどして、被害を防ぎました。

【事例2】

タクシー運転手は、20代後半の男性を駅から乗せた際、その姿が私服にビジネスバッグと違和感のある組み合わせで、行き先が運転手の知っている高齢の女性宅の住所であったため不審に思い、男が降車した後、様子を見てみると、男は女性宅には行かず、周辺をウロウロしていたため、ますます不審に思い、女性宅に行き、不審な男が来ていることを伝えました。すると女性は、「これからお金を下ろしに行く。」などと話し、詳しく話を聞くと、孫から「大事な書類が入ったかばんをなくした。」などと電話があり、お金を用意して欲しいと言われたことなど話したため、振り込め詐欺の可能性があることなどを伝え、被害を未然に防ぐことができました。



振り込め詐欺の被害は、昨年過去最悪の件数、被害額となり、今年も前年比プラスで推移していることから、今後も被害を防止していくために、関係機関・団体の皆様のご協力が、必要不可欠となっております。高齢者の財産を狙う卑劣な犯罪を許さない、だまされた方を被害から守るため、引き続き、あらゆる機会を通じた広報啓発活動に御協力をお願いします。

3 神奈川県警察からのお知らせ

すでに新聞等の報道によりご存じ方もいると思いますが、県警察では、県消費生活課と連携して、振り込め詐欺や悪質商法などの電話を撃退するため、電話の着信時に会話内容を録音するというメッセージが流れ、通話内容を自動録音する特殊詐欺等電話撃退機器を導入しました。この機器は、

- おおむね60歳以上の方が居住している世帯
- 昼間、高齢の方が一人で在宅する世帯

などを対象に、現在、無償貸与を行っています。